

トレインビューのご案内

上層階からの眺望

トレインビュープランでご用意する上層階のお部屋からは、JR 名古屋駅を見渡すような光景をご覧ください。また、南に展開される東京方面やおおなみ線、近鉄なども見られます。



▲新幹線先頭車の見え方に注目!
駅西のビル群の向こうには養老山脈も眺められる



17階 トレインビュールームからの見え方



客室から見られる車両たち

東海道新幹線



▲N700S（手前）とN700A（奥）

東海道新幹線は N700A がほとんどで、最新鋭の N700S が時折やってくる状態です。よく似ている2つの見分け方をお伝えします。



▲先頭部のラインが N700S は S 状



◀上：N700S
下：N700A
側面のロゴが異なる



◀見たら幸せになれると人気のドクターイエロー。いつ走ってくるかは非公表なので、運次第！

早朝6時 15-20 分頃にやってくる確認車。保守機械であるもののこれが無事に走り終わらないと新幹線定期列車の発車ができない重要な役目を持っている。▶



東海道本線の旅客用電車



▲JR 東海の主力電車 313 系

東海道本線は、主力の 313 系電車（左）と、311系電車（下）がほとんどを占めています。



◀特急「しらさぎ」用 JR 西日本 681,683 系
回送で東海道本線を走る

中央本線の旅客用電車

中央本線は名古屋通勤圏の足であるとともに、松本・長野方面への特急「しなの」の走る路線でもあります。頻繁に行き交う近郊電車の合間に、昼間時間帯は毎時 00 分名古屋発の特急「しなの」が走ります。



▲ほぼ毎時 00 分に発車する特急「しなの」は、383 系振り子式電車を使用



◀中央本線の主力電車 315 系。
中央本線名古屋～中津川間の特急以外の旅客列車は、
すべてこの形式に統一されている

関西本線の旅客用列車

関西本線の電車は、東海道本線で紹介した 313 系です。

ただし、2～4 両編成と短い編成で運行しています。

その合間を、伊勢市や鳥羽に直通するキハ 75 系快速「みえ」や、新宮・紀伊勝浦へ向かう HC85 系特急「南紀」が走ります。



◀ 関西本線を走る快速「みえ」用
キハ 75 系



◀ ハイブリッド車 HC85 系
特急「ひだ」と「南紀」で活躍中

その他の特殊車両

多数の列車が行き来しますが、中には見られたらラッキーな車両もあります。

ここに紹介するのはいずれも名古屋車両区に所属している、比較的好く見かける車両たちです。



◀ キヤ 95 系軌道・電気総合
試験車 通称：ドクター東海



◀ キヤ 97 系レール運搬

貨物列車用の機関車

JR 名古屋駅は、全国の主要駅のなかでもずば抜けて貨物列車の行き来が多いことでも知られています。それら全てを、お部屋に居ながらご覧いただくことができます。その主力車両たちをここにご紹介します。



◀ EF64 形直流電気機関車

愛知機関区（稲沢）に集中配置されている国鉄型機関車で、中央本線の名物であるタンク車重連牽引もある。



◀ EH200 形直流電気機関車

通称：ブルーサンダー

国鉄時代に製造された EF64 に代わり、中央東線から中央西線へも進出することで名古屋でもみられるようになった高崎期間区所属の機関車。



◀ DF200 形電気式ディーゼル機関車

通称：レッドベア

北海道用に開発されたディーゼル機関車。赤いため、レッド・ベアの愛称がつけられている。本州用に改造された 200 番台が愛知機関区に集中配置され、関西本線と名古屋貨物ターミナルへの列車に充当されている。どちらもホテル前ではあおなみ線を走り、笹島信号場から関西本線に入る。



◀ EF66 形直流電気機関車

いまでも現役の国鉄最強直流電気機関車。



◀ EF210 形直流電気機関車

通称：ECO-POWER 桃太郎

東海道本線の主力電気機関車で、当初全車が岡山機関区配置だったことから ECO-POWER 桃太郎と名付けられた。桃太郎とサル・イヌ・キジのキャラクターラッピング車が増えている。



◀ EF510 形交直両用電気機関車

通称：ECO-POWER レッドサンダー

日本海縦貫線が主の活躍場所だが、名古屋にも顔を出している。

あおなみ線

（名古屋臨海高速鉄道）

1000 形電車
あおなみ線唯一の形式 ▶

